

課題

- ① 構造体として,
`planets(char name[64], int diameter, int distance)`
を定義し、構造体内のそれぞれの値をキーボード (`scanf` を使う)
または、ファイル入力 (`fscanf` を使う) から入力できるようにし、
その入力結果を最後にまとめて表示させなさい。
- ② 上記 `planets` を配列として定義し、複数の惑星についての情報を入力し、
表示させられるようにしなさい。
- ③ `www` からデータ (`planets.data`) を自分のフォルダにダウンロードし、
パイプライン (`scanf` を使う) または、ファイル入力 (`fscanf` を使う) により
10 個のデータを入力しなさい。
<http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~tohtake/planetsdata.dat>
- ④ 冥王星を除いた新しい構造体配列と作りなさい。
惑星の名前 `name` を 1 文字のみとし、古い構造体配列からののはじめ一文字としなさい。
また、太陽からの距離を地球からの距離で正規化した天文単位で表示させなさい。
これをパイプライン (`printf` を使う) または、ファイル出力 (`fprintf` を使う) により
ファイル `data2` へ出力しなさい。
- ⑤ ファイル `data2` を入力し、直径順になるように、ソーティングし、表示させなさい。
ソーティングについては、教科書 (p.60) を参考にすること。
- ⑥ 前回までの配列を用いた課題のうちのいくつかを、動的配列を用いて書き換えよ。

終わった人は最終レポートの作成をしてください

締め切り 2010 年 2 月 20 日 17:00 厳守

駒場情報教育棟 4 階レポートボックス

または yu-ohtake@den.rcast.u-tokyo.ac.jp へメール

詳細は以下の URL にあります。

<http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~tohtake/FinalReport.pdf>